

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月4日

事業所名 モモの家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	机上の活動では座席の配置(対面にはならないよう)に配慮するなど、限られた空間を密にならないよう工夫している。	活動内容により狭く感じることもあるので、コロナウイルス感染予防への対策もふまえて引き続き配慮を行う。
	2	職員の配置数は適切である	5	0		配置基準は満たしているが、職員間の連携を十分に図ることで、利用者の方に職員の手が足りない印象とならないよう努める。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	事業所を含む館内はバリアフリーとなっている。室内の間取りや構造の狭さがあるが、掲示物の刺激を最小限にしたり、分かりやすくする工夫を行っている。	必要があれば改善を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	物の配置は安全面を第一に注意をするとともに、今年度はコロナウイルス感染対策として朝夕の清掃に加え玩具の定期的な消毒も徹底してきた。	活動の妨げにならないような収納を行い、コロナウイルス感染予防対策を中心とした衛生面への配慮を引き続き行う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	事業終了後のミーティングで反省点や気付いたことを出し合い、改善策を共有するとともに全職員が発言する機会を持てるようにしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		保護者の方からのご意見を踏まえ、改善策に早急に取り組み、今後の業務に繋げる。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		昨年度に引き続き、今回の結果についてはホームページ及び事業所内で閲覧できる冊子で公開を行う。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		現在は第三者による外部評価は行っていない。今後の実施を検討する予定。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、外部への研修は限定されたもののみであったが、参加した職員による資料や内容を全職員で共有した。研修内容は少しでも日々の支援に役立てるように努めている。	次年度はオンラインでの研修会への参加も含めて、積極的に研修の機会を確保する。
適	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	定期的にあセスメント及びモニタリングを行い保護者の方の願いをふまえた上で、全職員で十分に会議を行いながら計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	ポーター早期教育プログラムを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	利用する子どもの実態に合わせて、支援に必要な内容を選択・設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	支援計画書に沿った支援を行っている。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月4日

事業所名 モモの家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	起案に対して職員間で検討を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	起案に対して職員間で検討を行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	全職員で会議を行い、それぞれの発達に応じた支援計画を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	支援開始前、支援終了後いずれも職員間で情報共有や支援内容についてのミーティングを実施している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	支援開始前、支援終了後いずれも職員間で情報共有や支援内容についてのミーティングを実施している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	日々の支援内容について記録をとり職員間で共有することで、支援内容の見直しにつなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年ごとにモニタリングと支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	主に児童発達支援管理責任者が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	保護者からの相談で連携が必要な場合や乳幼児健診からの紹介など、必要に応じた連携が日常的にとれている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	「すくすくネットワーク研修会」において市内の保育所・専門機関と連携をとり、保護者の方の理解を得た上で支援内容の共有を図り、より効果的な支援を目指している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	「就学サポートファイル作成会議」等で保護者・学校・幼稚園や保育園と連携し、事業所での支援内容や良かった取り組みについて伝えることで、学校への移行がスムーズになるよう情報共有をしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	昨年度より発足した市自立支援協議会児発管部会に参加することで、意見交換や連携が図れるようになり、他事業所での取り組みなどから学ぶことがある。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月4日

事業所名 モモの家

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	28	0	5		日々の療育時間の中では外部施設との交流は難しく、実施はできていないが、幼稚園や保育園との並行通園をしている子どもが大半であり、必要性については特に感じていない。
	29	5	0	業務を調整し、毎回参加をしている。	
	30	5	0	日常の様々な場面で保護者の方と子どもの様子や課題などを話題にし、共通理解に努めている。	
	31	3	2	療育の実際の場面で子どもとの関わり方について具体的に伝えたり、必要に応じて支援を行っている。	プログラム化されたものは実施していない。年1回開催している保護者学習会では、支援学校より講師を招いて就学や発達等に関する理解を深める機会を設けている。今後も継続して家族支援体制の強化に努める。
	32	5	0	契約時に説明し、保護者から同意を得ている。	
	33	5	0	ガイドラインに基づき計画を作成し、保護者からの同意を得ている。	
	34	3	2	随時面談を行うことができ、相談があった場合は助言や適切な支援を行えるように努めている。	随時面談を行える体制はあるが定期的ではないため、自ら発信しづらい保護者の方へは引き続き配慮を行う。
	35	5	0	活動の場を提供したり、保護者会活動(ブルタブ収集・集金)の仲介役を積極的に行うようにして支援している。	
	36	5	0	苦情に対する対応の体制を整備している。保護者からの相談や申し入れについては、どんな些細なことでも職員間で共有し速やかな対応に努めている。	
保護者への説明責任等	37	5	0	月1回発行のおたよりで活動内容・行事等について周知している。また、必要に応じて号外を発行したり、直接の電話連絡など、情報の伝達に不足がないよう努めている。勤務時間外はメールでも連絡を受け付ける体制を引き続きとっている。	
	38	5	0	ケースファイルは施錠できる書庫に保管したり、パソコン端末はパスワード設定で管理するなどしている。活動中の写真撮影や卒園文集等への写真掲載の可否について、書面にて承諾をとった。	今後もより細かな配慮を常に検討していく。
	39	4	1	子どもとの意思疎通は、必要に応じて絵カードや文字、身振りなど様々な手段を駆使しながら行っている。	保護者との意思疎通には必要に応じて書面を通じて行うこともある。今後もその都度配慮しながら行っていく。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月4日

事業所名 モモの家

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		現在は事業所内部の行事を行うのみとなっている。コロナウイルスの事情も鑑みて今後検討していく。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	0	5	職員向けにはマニュアルが整備されている。	保護者の方には周知の徹底を行っておらず、閲覧用マニュアルの整備を行う。職員向けに関しても全マニュアルの共有や訓練は行えていないため、実施を行う。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0	5		定期的(年2回)に複数事業所合同の避難訓練を実施しているが、今年度はコロナウイルス感染防止対策により実施がなかった。防災設備点検は例年通り定期的に行った。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	通園開始時に保護者の方から健康に関する配慮事項について聞き取り、情報を把握するよう努めている。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	通園開始時に給食提供に関して食物アレルギーの有無を確認し、法人の管理栄養士に情報提供している。必要に応じて、病院からの検査情報を紙面でいただいたり、保護者と栄養士との面談を設けたりすることもある。食事の配膳の際も保護者とともメニューの最終確認を行い、事故のないよう努めている。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	支援中に起きた事案は速やかに責任者に報告するとともに記録に残し、全職員に口頭で周知することが習慣化している。どんな小さな事案に対しても迅速に対応できるよう情報共有に努めている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	研修の機会は確保できていないが、支援の中で虐待につながるような事例はなく、職員間でも子どもへの対応で気付いたことは話し合っている。	今後、虐待防止マニュアルの整備を準備するとともに、引き続き虐待防止に努め、誤解されるような行動がないよう注意をしていく。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	5	今年度も支援の中で身体拘束を行う状況は特になかった。	今後、やむを得ず身体拘束を行う場合にはマニュアル整備を準備する。